

令和7年 沖縄県青年農業者等実態調査結果の概要

令和8年6月1日
沖縄県 営農支援課

本調査は、令和7年1月1日から12月31日までの間に、年間150日以上農業に従事した者（年の途中から新規に就農した者は150日以上従事すると見込まれる者）を対象に、市町村、沖縄県農業会議、（公財）沖縄県農業振興公社、農業大学校、農業改良普及センター及び農林高校から回答を得た数を集計したものである。

- ① **新規就農者** 18歳以上65歳未満で、調査対象期間内に新規に就農した者
- ② **青年農業者** 18歳以上45歳未満で、年間150日以上農業に従事している者
- ③ **中高年農業者** 45歳以上65歳未満で、年間150日以上農業に従事している者
- ④ **新規学卒就農者** 学校を卒業し、他産業に従事せず就農した者
- ⑤ **Uターン就農者** 農家出身で、他産業を離職後就農、または在宅兼業から就農した者
- ⑥ **新規参入者** 非農家出身者、または、農家出身で自家以外に農地を取得し就農した者

※農業経営基盤強化促進法施行規則の改正に伴い、平成26年調査から「新規就農者」、「青年農業者」及び「中高年農業者」の年齢を下記のとおり変更している。

	（平成25年まで）	（平成26年から）
新規就農者……	15歳以上65歳未満	⇒ 18歳以上65歳未満
青年農業者……	15歳以上40歳未満	⇒ 18歳以上45歳未満
中高年農業者……	40歳以上65歳未満	⇒ 45歳以上65歳未満

1. 新規就農者

(1) 県全体の新規就農者数の状況

令和7年の新規就農者数は307人となっており、前年の291人から16人増加となっている。

新規就農者のうち、青年農業者(45歳未満)は161人(52.4%)、中高年農業者(45歳以上)は146人(47.6%)となっている。

図-1 新規就農者数の推移(過去5年間)

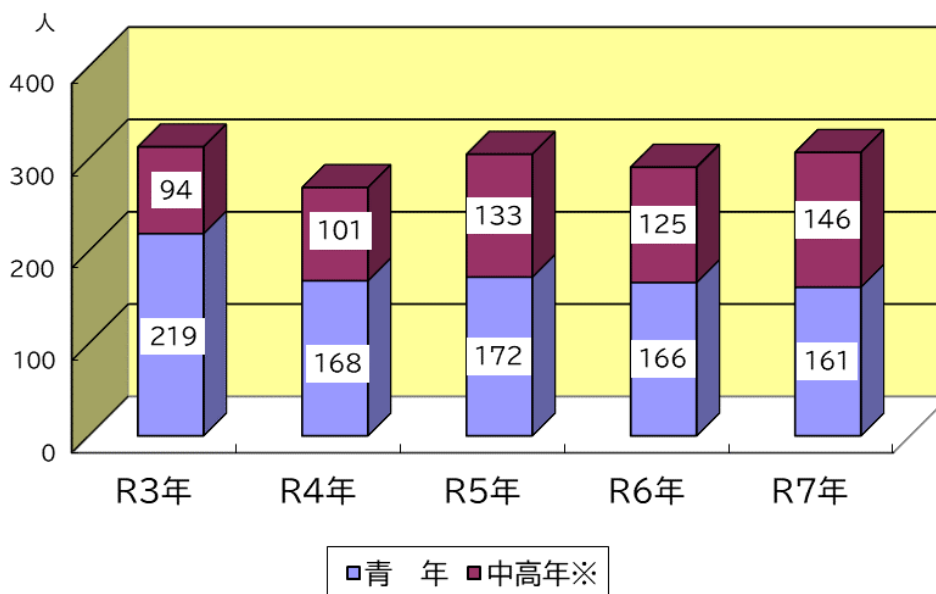


表-1 新規就農者の状況(県全体)

(単位:人、%)

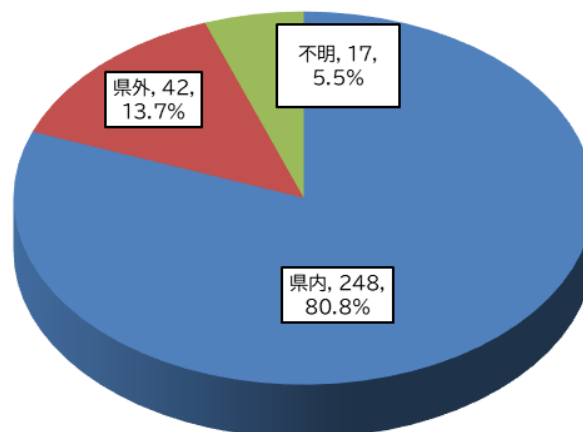
	R3年	構成比	R4年	構成比	R5年	構成比	R6年	構成比	R7年	構成比
青年	219	70.0	168	62.5	172	56.4	166	57.0	161	52.4
中高年※	94	30.0	101	37.5	133	43.6	125	43.0	146	47.6
計	313		269		305		291		307	

※法人及び不明含む

図-2 新規就農者の出身地の状況

(2) 新規就農者の出身地の状況

令和7年の新規就農者を出身地別に見てみると、県内出身者が248人(80.8%)、県外出身者が42人(13.7%)、不明が17人(5.5%)となっている。



(3) 新規就農者の就農類型別の状況

令和7年の新規就農者の就農類型別では、新規学卒就農者(農業大学校を新規に卒業した中高年者を含む)が11人で全体の 3.6%となっており、Uターン就農者が 6 人で 2.0%、新規参入者が281人で 91.5%、不明が 9 人で 2.9%となっている。

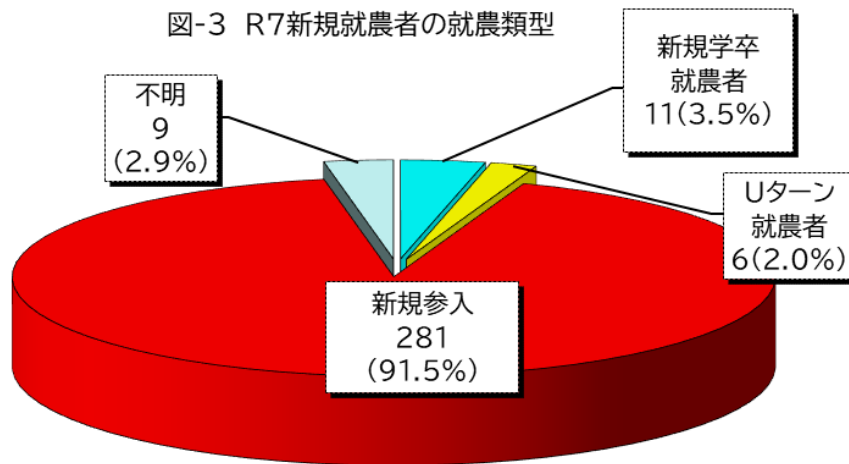


表-2 新規就農者の就農類型(過去5年間)

(単位:人、%)

	R3年	構成比	R4年	構成比	R5年	構成比	R6年	構成比	R7年	構成比
新規学卒	32	10.2%	22	8.2%	18	5.9%	20	6.9%	11	3.6%
Uターン	32	10.2%	49	18.2%	21	6.9%	15	5.2%	6	2.0%
新規参入	185	59.1%	152	56.5%	206	67.5%	218	74.9%	281	91.5%
不明	64	20.4%	46	17.1%	60	19.7%	38	13.1%	9	2.9%
計	313	100%	269	100%	305	100%	291	100%	307	100%

(4) 令和7年の各地域別新規就農者数の状況

①北部地域

新規就農者数は53人で、前年比25人の減少となった。北部地域の 新規就農者が全体に占める割合は17. 3%となっている。

②中部地域

新規就農者数は75人で、前年比12人の増加となった。中部地域の新規就農者が全体に占める割合は 24.4%となっている。

③南部地域

新規就農者数は45人で、前年比1人の減少となった。南部地域の新規就農者が全体に占める割合は 14.7%となっている。

④宮古地域

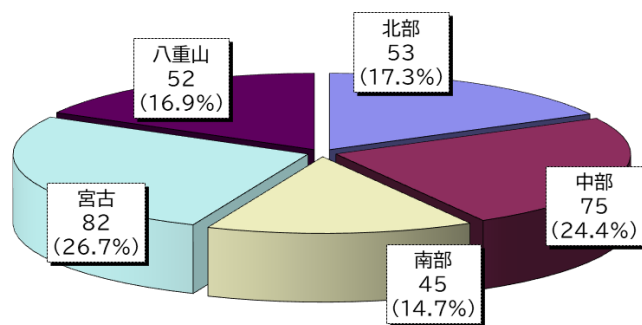
新規就農者数は82人で、前年比25人の増加となった。宮古地域の新規就農者が全体に占める割合は 26.7%となっている。

⑤八重山地域

新規就農者数は52人で、前年比5人の増加となった。八重山地域の新規就農者が全体に占める割合は16. 9%となっている。

図-4 各地域別新規就農者の状況

(単位:人、%)



	新規就農者数	構成比
北部	53	17.3
中部	75	24.4
南部	45	14.7
宮古	82	26.7
八重山	52	16.9
計	307	

表-3 新規就農者の状況(各地域別)

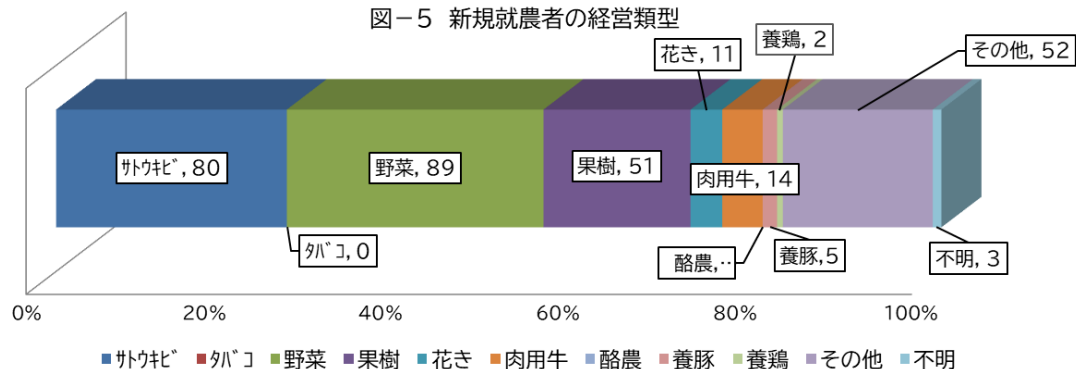
(単位:人、%)

		R3	構成比	R4	構成比	R5	構成比	R6	構成比	R7	構成比	全体に占める割合
北部	青年	60	63.2	57	65.5	59	72.0	53	67.9	34	64.2	17.3
	中高年※	35	36.8	30	34.5	23	28.0	25	32.1	19	35.8	
	計	95		87		82		78		53		
中部	青年	23	63.9	23	62.2	32	49.2	27	42.9	32	42.7	24.4
	中高年※	13	36.1	14	37.8	33	50.8	36	57.1	43	57.3	
	計	36		37		65		63		75		
南部	青年	82	86.3	42	80.8	37	92.5	42	91.3	39	86.7	14.7
	中高年※	13	13.7	10	19.2	3	7.5	4	8.7	6	13.3	
	計	95		52		40		46		45		
宮古	青年	26	59.1	27	51.9	22	36.7	21	36.8	28	34.1	26.7
	中高年※	18	40.9	25	48.1	38	63.3	36	63.2	54	65.9	
	計	44		52		60		57		82		
八重山	青年	28	65.1	19	46.3	22	37.9	23	48.9	28	53.8	16.9
	中高年※	15	34.9	22	53.7	36	62.1	24	51.1	24	46.2	
	計	43		41		58		47		52		
全体	合計	313		269		305		291		307		

(5) 新規就農者の経営類型

県全体の新規就農者の経営類型では、野菜が89人(29.0%)で最も多く、果樹が51人(16.6%)、さとうきびが80人(26.1%)の順となっている。

図-5 新規就農者の経営類型



(6) 各地域別新規就農者の経営類型

①北部地域

北部地域の新規就農者53人の経営類型は、果樹が23人(43.4%)で最も多く、次いで野菜、花きが8人(15.1%)、その他が9人(17.0%)の順となっている。

②中部地域

中部地域の新規就農者75人の経営類型は、野菜が35人(46.7%)で最も多く、次いでさとうきびが9人(12.0%)、その他が15人(20.0%)の順となっている。

③南部地域

南部地域の新規就農者45人の経営類型は、野菜が29人(64.4%)で最も多く、次いで肉用牛が5人(11.1%)、その他3人(6.7%)の順となっている。

④宮古地域

宮古地域の新規就農者82人の経営類型は、さとうきびが56人(68.3%)で最も多く、次いで野菜が12人(14.6%)、その他3人(3.7%)の順となっている。

⑤八重山地域

八重山地域の新規就農者52人の経営類型は、その他が22人(42.3%)で最も多く、次いでさとうきびと果樹が11名(21.2%)、野菜が5人(9.6%)の順となっている。

表-4 新規就農者の経営類型(地域別)

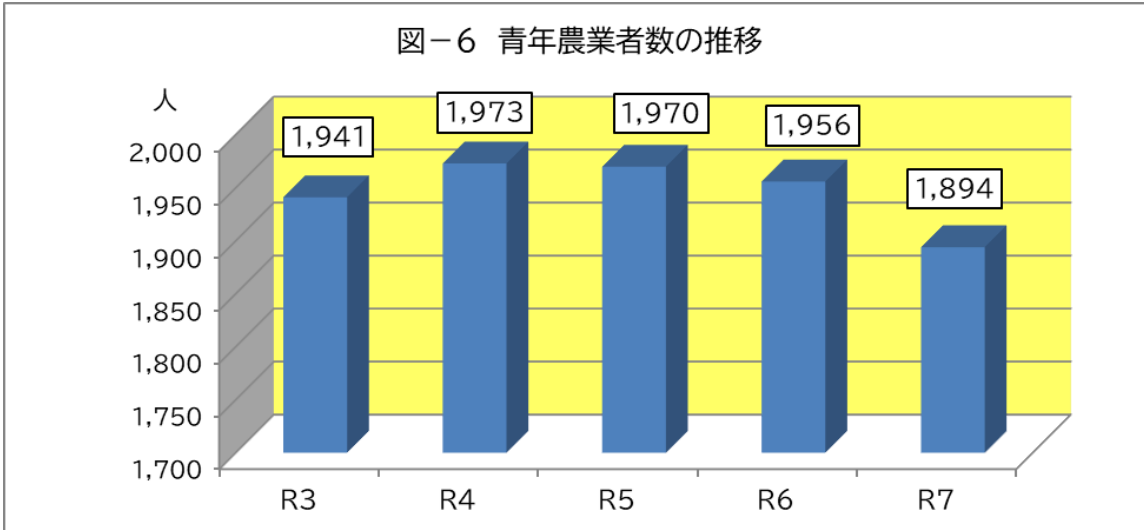
(単位:人、%)

	さとう きび	タバコ	野菜	果樹	花き	肉用牛	酪農	養豚	養鶏	その他	不明	計
北 部	2	0	8	23	8	1	0	0	0	9	2	53
構成比	3.8	0.0	15.1	43.4	15.1	1.9	0.0	0.0	0.0	17.0	3.8	17.3
中 部	9	0	35	7	3	1	0	3	2	15	0	75
構成比	12.0	0.0	46.7	9.3	4.0	1.3	0.0	4.0	2.7	20.0	0.0	24.4
南 部	2	0	29	3	0	5	0	2	0	3	1	45
構成比	4.4	0.0	64.4	6.7	0.0	11.1	0.0	4.4	0.0	6.7	2.2	14.7
宮 古	56	0	12	7	0	4	0	0	0	3	0	82
構成比	68.3	0.0	14.6	8.5	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	26.7
八重山	11	0	5	11	0	3	0	0	0	22	0	52
構成比	21.2	0.0	9.6	21.2	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	42.3	0.0	16.9
合 計	80	0	89	51	11	14	0	5	2	52	3	307
構成比	26.1	0.0	29.0	16.6	3.6	4.6	0.0	1.6	0.7	16.9	1.0	

2. 青年農業者

(1) 県全体の状況

令和7年の青年農業者数は1,894人となっており、前年の1,956人に比べ、62人(3.17%)の減少となっている。



※青年の定義は、平成25年までは15歳以上40歳未満、平成26年からは18歳以上45歳未満である。

(2) 令和7年の各地域別の青年農業者の状況

①北部地域

青年農業者数は532人で、前年比29人(5.2%)の減少となっている。

②中部地域

青年農業者数は243人で、前年比6人(2.4%)の減少となっている。

③南部地域

青年農業者数は533人で、前年比11人(2.1%)の増加となっている。

④宮古地域

青年農業者数は285人で、前年比14人(3.3%)の減少となっている。

⑤八重山地域

青年農業者数は262人で、前年比14人(5.0%)の減少となっている。

表-5 青年農業者の推移(新規就農者含む)

(単位:人、%)

	R3	構成比	R4	構成比	R5	構成比	R6	構成比	R7	構成比
北部	509	26.2	494	25.0	512	26.0	561	28.7	532	28.1
中部	224	11.5	233	11.8	248	12.6	249	12.7	243	12.8
南部	533	27.5	477	24.2	560	28.4	522	26.7	533	28.1
宮古	339	17.5	340	17.2	307	15.6	295	15.1	285	15.0
八重山	290	14.9	289	14.6	295	15.0	276	14.1	262	13.8
不明	46		140	7.1	48	2.4	53	2.7	39	2.1
計	1,941		1,973		1,970		1,956		1,894	

※構成比は小数点第2位で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない値がある。

※不明者48人は、雇用就農後に転職または独立した者の内、追跡調査が困難だった者

(3) 各地域別・経営類型別の青年農業者の状況

①北部地域

北部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が162人(30.5%)と最も多く、次いで果樹が122人(22.9%)、花きが97人(18.2%)の順となっている。

②中部地域

中部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が106人(43.6%)と最も多く、次いで花きが40人(16.5%)、果樹が27人(11.1%)となっている。

③南部地域

南部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が289人(54.2%)と最も多く、次いで花きが66人(12.4%)、肉用牛54人(10.1%)となっている。

④宮古地域

宮古地域の青年農業者の経営類型は、さとうきびが117人(41.1%)と最も多く、次いで野菜が71人(24.9%)、果樹39人(13.7%)となっている。

⑤八重山地域

八重山地域の青年農業者の経営類型は、肉用牛が70人(26.7%)と最も多く、次いでさとうきびが62人(23.7%)、果樹46人(17.6%)となっている。

表-6 青年農業者の経営類型(青年新規就農者含む)

(単位:人、%)

	さとうきび	タバコ	野菜	果樹	花き	肉用牛	酪農	養豚	養鶏	その他	不明	計
北 部	23	9	162	122	97	63	0	5	5	40	6	532
構成比	4.3	1.7	30.5	22.9	18.2	11.8	0.0	0.9	0.9	7.5	1.1	28.1
中 部	10	0	106	27	40	19	1	6	6	17	11	243
構成比	4.1	0.0	43.6	11.1	16.5	7.8	0.4	2.5	2.5	7.0	4.5	12.8
南 部	22	1	289	44	66	54	14	6	9	14	14	533
構成比	4.1	0.2	54.2	8.3	12.4	10.1	2.6	1.1	1.7	2.6	2.6	28.1
宮 古	117	9	71	39	0	35	0	1	1	5	7	285
構成比	41.1	3.2	24.9	13.7	0.0	12.3	0.0	0.4	0.4	1.8	2.5	15.0
八重山	62	2	32	46	2	70	4	3	0	39	2	262
構成比	23.7	0.8	12.2	17.6	0.8	26.7	1.5	1.1	0.0	14.9	0.8	13.8
不明	1	0	0	2	0	1	1	1	0	1	32	39
構成比	0.4	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	12.2	2.1
合 計	235	21	660	280	205	242	20	22	21	116	72	1,894
構成比	12.4	1.1	34.8	14.8	10.8	12.8	1.1	1.2	1.1	6.1	3.8	